

令和3年度 大田区立大森第三中学校 自己評価 報告書

令和3年4月30日

○ 本校の概要

◆教育目標	社会の一員としてたくましく生き抜く人間性豊かな生徒の育成をめざし、以下の目標を掲げる。
○人権尊重の精神と態度を育てる。	○豊かな情操と健全な心身を育てる。
○自主性を伸ばし創造性を育てる。	○自ら進んで学ぶ態度を育てる
◆学校規模	生徒数505名、学級数15学級
◆本校特色	○地域行事・ボランティア活動参加(新井宿福祉園運動交流会、ガーデンパーティ、日赤フェスタ、ユニバーサル駅伝伴走、新井宿児童館親子デー、自治会連合運動会、山王三・四丁目自治会子どもまつり・防災祭、入二小フェスタなど) ○生徒会や各種委員会を中心とした生徒主体の活動(生徒会朝礼、SNS学校ルール策定、いじめ撲滅運動、学校行事や学年行事での実行委員会組織による企画・運営など) ○スクールサポート三中(学校支援地域本部)を中心とした学校・地域協働体制による充実した教育活動の展開(図書室ボランティア、職業講話講師、職場体験受入先、土曜補習教室講師、部活動支援、英語検定、漢字検定試験監督、ガーデニング)

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	目標に対する成果指標
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にシなやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上が回答した。 2: 60%以上が回答した。 1: 60%未満であった。	4: 生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ80%以上。
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上が回答した。 2: 60%以上が回答した。 1: 60%未満であった。	3: 生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ60%以上。
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上が回答した。 2: 60%以上が回答した。 1: 60%未満であった。	2: 生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ60%未満
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上が回答した。 2: 60%以上が回答した。 1: 60%未満であった。	1: 生徒への学校教育活動点検アンケートの設問の回答がそれぞれ40%未満
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4: 全教員が行った。 3: 80%以上の教員が行った。 2: 60%以上の教員が行った。 1: 60%未満であった。	
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4: 対象となる全学級(全教員)で行った。 3: 80%以上で行った。 2: 60%以上で行った。 1: 60%未満であった。	4: 学習に積極的に取り組んでいる生徒の割合と学習効果測定 の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている割合 がそれぞれ80%以上
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:学期に2～3回知らせた。 3: 学期毎に知らせた。 2: 年度間に1回は知らせた。 1: お知らせできなかった。	3: 学習に積極的に取り組んでいる生徒の割合と学習効果測定 の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている割合 がそれぞれ60%以上
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4: 対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。 3: 80%以上の教員が働きかけた。 2: 60%以上の教員が働きかけた。 1: 60%以下の教員が働きかけた。	2: 学習に積極的に取り組んでいる生徒の割合と学習効果測定 の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている割合 がそれぞれ60%未満
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上が回答した。 2: 60%以上が回答した。 1: 60%未満であった。	1: 学習に積極的に取り組んでいる生徒の割合と学習効果測定 の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている割合 がそれぞれ40%未満
		基礎基本的な学習内容を確実に定着させるため、精選した課題を与えて家庭学習時間の増加を促す。	4: 家庭学習時間が30分未満である生徒の割合が10%未満。 3: 家庭学習時間が30分未満である生徒の割合が10%以上15%未満。 2: 家庭学習時間が30分未満である生徒の割合が15%以上20%未満。 1: 家庭学習時間が30分未満である生徒の割合が20%以上。	
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4: 全教員が行った。 3: 80%以上の教員が行った。 2: 60%以上の教員が行った。 1: 60%未満であった。	4: 学習に積極的に取り組んでいる生徒の割合と学習効果測定 の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている割合 がそれぞれ80%以上
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4: 学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3: 学期に1回(年間3回)以上行った。 2: 年度間に1回以上行った。 1: 実施しなかった。	3: 学習に積極的に取り組んでいる生徒の割合と学習効果測定 の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている割合 がそれぞれ60%以上
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3: 80%以上の教員が回答した。 2: 60%以上の教員が回答した。 1: 60%未満であった。	2: 学習に積極的に取り組んでいる生徒の割合と学習効果測定 の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている割合 がそれぞれ60%未満
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4:「組織的対応ができた」と全教員が回答した。 3: 80%以上の教員が回答した。 2: 60%以上の教員が回答した。 1: 60%未満であった。	1: 学習に積極的に取り組んでいる生徒の割合と学習効果測定 の校内平均正答率が区内平均正答率を上回っている割合 がそれぞれ40%未満
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4: 必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応し 3: 必要な事案に対しておおた会議を実施した。 2: 必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。 1: 必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしない	
プラン4 健康の体力増進の向	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4: 全教員が行った。 3: 80%以上の教員が行った。 2: 60%以上の教員が行った。 1: 60%未満であった。	4: 生徒アンケートの設問「継続的な運動を通して基礎体力が向上した」で肯定的な回答が80%以上
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	4: 全教員が行った。 3: 80%以上の教員が行った。 2: 60%以上の教員が行った。 1: 60%未満であった。	3: 生徒アンケートの設問「継続的な運動を通して基礎体力が向上した」で肯定的な回答が60%以上
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4: 全教員が行った。 3: 80%以上の教員が行った。 2: 60%以上の教員が行った。 1: 60%未満であった。	2: 生徒アンケートの設問「継続的な運動を通して基礎体力が向上した」で肯定的な回答が60%未満
プラン5 環境の魅力ある教育環	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上が回答した。 2: 60%以上が回答した。 1: 60%未満であった。	4: 生徒アンケートの設問「わかりやすい授業が多く満足している」及び「補習教室・英語カフェ等授業以外の学習環境が整えられている」で肯定的な回答がともに80%以上。
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	4: 学期に2～3回(年間6回)以上行った。 3: 学期に1回(年間3回)以上行った。 2: 年度間に1回以上行った。 1: 実施しなかった。	3: 生徒アンケートの設問「わかりやすい授業が多く満足している」及び「補習教室・英語カフェ等授業以外の学習環境が整えられている」で肯定的な回答がともに60%以上
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3: 80%以上が回答した。 2: 60%以上が回答した。 1: 60%未満であった。	2: 生徒アンケートの設問「わかりやすい授業が多く満足している」及び「補習教室・英語カフェ等授業以外の学習環境が整えられている」で肯定的な回答がともに60%未満
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4: 月1回以上行った。 3: 学期に2～3回行った。 2: 学期1回以上行った。 1: 実施しなかった。	1: 生徒アンケートの設問「わかりやすい授業が多く満足している」及び「補習教室・英語カフェ等授業以外の学習環境が整えられている」で肯定的な回答がともに40%未満
プラン6 学校とも家庭・地域育がー	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4: 月1回以上更新した。 3: 学期に2～3回更新した。 2: 学期1回以上更新した。 1: 更新しなかった。	4: 保護者へのアンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる。」での肯定的な回答が93%以上
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	4: 毎回情報を提供した。 3: おおむね情報を提供した。 2: あまり情報を提供しなかった。 1: 情報を提供しなかった。	3: 保護者へのアンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる。」での肯定的な回答が60%以上
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	4: 学期に2～3回行った。 3: 学期1回以上行った 2: 年1回以上行った。 1: 実施しなかった。	2: 保護者へのアンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる。」での肯定的な回答が60%未満
		生徒がJRCだけでなく様々なボランティア活動に参加するよう促す。	4: のべ参加生徒数が495人以上であった。 3: のべ参加生徒数が400人以上495人未満であった。 2: のべ参加生徒数が300人以上400人未満であった。 1: のべ参加生徒数が300人未満であった。	1: 保護者へのアンケートの設問「保護者会、学年通信等で学校の様子がよくわかる。」での肯定的な回答が40%未満